



平成28年度気仙地域県立病院運営協議会 平成29年1月23日

大船渡病院の現況

院長 伊藤達朗

理念：優しさと信頼のある医療の実現



医療安全関連

- 医療安全管理室
 - 医療安全管理者、医療安全管理室長
 - 医療安全管理委員会、室会議
 - 医療事故関連：医療安全調査委員会、医療事故調査委員会
 - インシデントレポート収集・分析・改善策立案・評価、院内パトロール
 - 職員教育
 - 医療メディエーションの実施
 - 地域病院支援、情報発信
- 真実開示が大原則**



院内感染対策関連

- 感染制御室
 - 感染管理認定看護師(1名)、感染制御室長、認定感染制御医師(4名)
- 院内感染対策委員会、ICTミーティング
- インフルエンザ対策・・・面会制限、感染者対策
- ノロウイルス対策、他
- 院内ラウンド、抗菌薬適正使用、職員教育
- 地域病院支援、情報発信

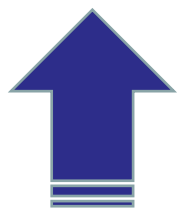
全員参加が必要条件



大規模経営計画

- 目的

- 患者満足度の向上
- 職員満足度の向上
- 収支の改善



地域医療構想
新公立病院改革ガイドライン
保健医療計画

患者・家族
の満足と
信頼

&

職員
の満足と
信頼



結果としての収支改善

大規模経営計画の骨子

- ソフトとハードの両面からアプローチ
 1. 大規模改修・・・通常改修と新たな施設の設置
 2. PFM(Patient Flow Management)導入
 - 総合患者支援センター(仮)の設置
 3. 一病棟休止・・・改修工事対応と効率的病棟運用
 4. 看護力の強化・・・救急医療、周産期医療、入退院支援
 5. 未来かなえネットの有効活用
 - 救急医療、病診連携、介護連携、情報発信

挑戦と大改革

※当院の機能: 高度急性期、急性期、回復期



大改修計画の実施、新設する部門等

- 総合患者支援センター(仮)設置⇒外来エントランスホール
- 地域包括ケア病棟の拡充⇒45床: postacute、subacute、在宅支援
- 救命救急センターに感染専用診察室設置 **20~30年に対応**
- 外来化学療法室統合、内視鏡室の改修 **少子高齢化に対応**
- QM(クオリティ・マネジメント)室(仮)設置⇒3階東・・・医療の質
 - 医療安全管理室、感染制御室、認定看護師等室の統合
- CE(クリニカル・エンジニア)センター統合⇒3階東・・・医療機器
- 全トイレ洋式化、身障者用駐車場の拡充と近接移転
- 臨床研修医室、臨床研修管理室⇒3階東
- 職員更衣室拡張⇒3階西、職員休憩室の集約⇒6階西



PFM⇒総合患者支援センター(仮称)

●地域医療連携室

医療連携
介護連携
院外イベント調整

●入院支援室

入院説明・説明確認
薬剤・持参薬説明
栄養相談
病床管理

**Patient First
One Stop Service**



患者・家族

●患者相談室

退院支援・看護相談
福祉相談・心理相談
医療安全・個人情報

●がん相談支援センター

がん相談
がん情報
緩和ケア相談



未来かなえネットを利用した体制整備

- 紹介、逆紹介の充実
- 救急医療
- 病院、施設間情報共有
- 一部の予約システム解放
- 情報発信
 - 院内感染対策
 - 医療安全
 - 院内研修会など

**地域包括ケアシステムのインフラ
医療福祉連携
高齢者から小児まで
疾病管理から健康管理まで
地域の医療福祉の質の向上**



住田地域診療センター

- 泌尿統括副院長がセンター長兼務
- 通常は医師3人体制
 - 泌尿器科、小児科、耳鼻科、皮膚科定期診療
- 内科外来は3診体制
- 臨床研修医の地域研修協力施設
- 空きスペース活用
 - いわて東北メディカル・メガバンク機構気仙サテライト
- 来年度学校保健業務参加



当院の今年の姿勢: 3C + C

Chance

Challenge 3C

Change

COMMUNICATION



ハイラートの船



課題・・・皆さんに考えていただきたいこと

- 医療者との協働作業：意思決定、治療、医療安全、感染対策
- かかりつけ医を持つこと
- 救急医療の有効活用⇒有限
- 救急車の利用⇒有限
- 未来かなえネットに参加
- 患者相談室の利用
 - 特に診療やケアに係る心配、悩み、不信、不安なこと
 - 医療メディエーションの利用
- 出張講演会の利用⇒窓口総務課

